

国際音楽祭 NIPPON 2020

芸術監督 諏訪内 晶子

International Music Festival NIPPON 2020

Produced by Akiko Suwanai



2020年2月1日(土)~3月15日(日)

東京：サントリーホール/東京オペラシティコンサートホール/タケミツメモリアル/紀尾井ホール

愛知：三井住友海上しらかわホール/トヨタ産業技術記念館/徳川美術館

岩手：釜石市民ホール TETTO

主催：ジャパン・アーツ、日本経済新聞社、釜石市民ホール(東日本大震災復興応援コンサートのみ)

共催：[愛知]中日新聞社/CBCテレビ [岩手]岩手日報/IBC岩手放送

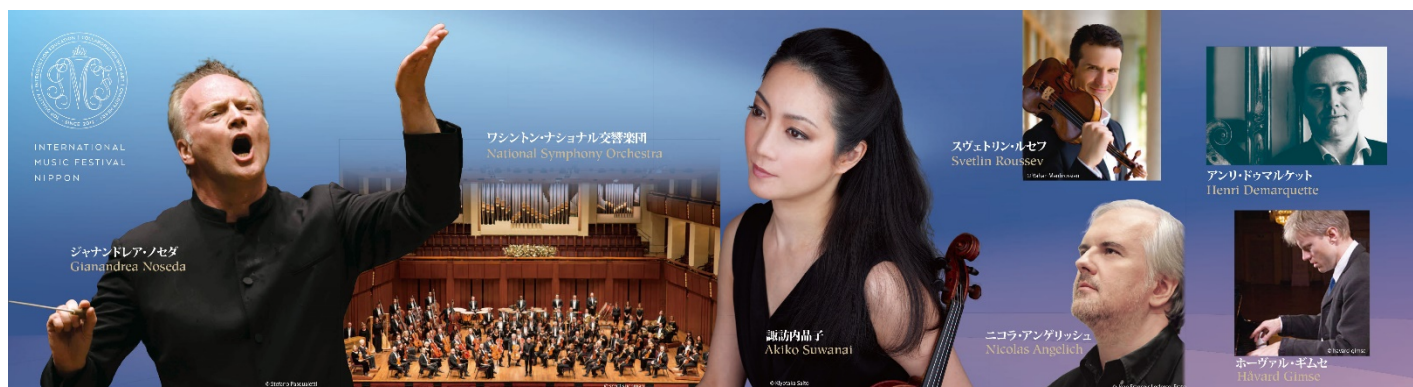
協力：ユニバーサル・ミュージック/東京音楽大学/桐朋学園大学

企画制作：ジャパン・アーツ

マネジメント：[東京]ジャパン・アーツ、[愛知]クラシック名古屋 制作協力：[岩手]岩手県文化振興事業団

特別協賛： 豊田自動織機  TOYOTA  豊田通商  AISIN

公演詳細



Duo Recital

諏訪内晶子 & ニコラ・アンゲリッシュ デュオ・リサイタル

【東京開催】2月14日(金)19:00 開演 東京オペラシティコンサートホール

《チケット料金》S席：8,000円/A席：6,000円/B席：4,000円

【愛知開催】2月15日(土)14:00 開演 三井住友海上しらかわホール

《チケット料金》S席：7,000円/A席：4,000円

【出演者】諏訪内晶子(ヴァイオリン)、ニコラ・アンゲリッシュ(ピアノ)

【プログラム】ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第5番 へ長調 Op. 24 「春」

ヴァイオリン・ソナタ第7番 ハ短調 Op. 30-2

ヴァイオリン・ソナタ第9番 イ長調 Op. 47 「クロイツェル」

Orchestra

ジャンンドレア・ノセダ指揮 ワシントン・ナショナル交響楽団

【東京開催】3月10日(火)19:00 開演 サントリーホール

《チケット料金》S席：20,000円/A席：16,000円/B席：13,000円/C席：9,000円

【出演者】諏訪内晶子(ヴァイオリン)、ジャンンドレア・ノセダ(指揮)、ワシントン・ナショナル交響楽団

【プログラム】バーバー：管弦楽のためのエッセイ 第1番 Op. 12

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲ニ長調 Op. 35(ヴァイオリン/諏訪内晶子)

ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」ホ短調 Op. 95

Beethoven Marathon

諏訪内晶子プロデュース ベートーヴェン 室内楽マラソンコンサート

【東京開催】3月8日(日) [第1部] 13:00 開演 [第2部] 16:00 開演 [第3部] 19:30 開演 ※22:30 終演予定
東京オペラシティコンサートホール

《チケット料金》1日通し券[全3部]: 8,500円 各部券: 4,000円 ※全席指定

[出演者]

諏訪内晶子(ヴァイオリン/国際音楽祭 NIPON2020 芸術監督)
スヴェトリン・ルセフ(ヴァイオリン)
成田達輝(ヴァイオリン)
鈴木康浩(ヴィオラ/読売日本交響楽団ソロ首席ヴィオラ奏者)
有田朋央(ヴィオラ)
アンリ・ドゥマルケット(チェロ)
上野通明(チェロ)
池松 宏(コントラバス/東京都交響楽団首席奏者)
吉井瑞穂(オーボエ/マーラー室内管弦楽団首席奏者)
金子 平(クラリネット/読売日本交響楽団首席奏者)
小山莉絵(ファゴット/ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団首席奏者)
日高 剛(ホルン/日本センチュリー交響楽団首席客演奏者)
ホーヴァル・ギムセ(ピアノ)
阪田知樹(ピアノ 他)

[プログラム] <オール・ベートーヴェン・プログラム>

第1部【13:00 開演】

ピアノ三重奏曲 第1番 変ホ長調 Op. 1-1
ピアノ三重奏曲 第4番 変ロ長調「街の歌」 Op. 11
ピアノ三重奏曲 第5番 ニ長調「幽霊」 Op. 70-1
ピアノ三重奏曲 第7番 変ロ長調「大公」 Op. 97

第2部【16:00 開演】

二重奏曲 変ホ長調「2つのオブリガート眼鏡付き」 WoO.32
弦楽五重奏曲 ハ長調 Op. 29 他

第3部【19:30 開演】

三重奏曲 ハ長調 Op. 87
ピアノと管楽器のための五重奏曲 変ホ長調 Op. 16
七重奏曲 変ホ長調 Op. 20
ヴァイオリン・ソナタ 第4番 イ短調 Op. 23
ヴァイオリン・ソナタ 第10番 ト長調 Op. 96
弦楽四重奏曲 第11番 ヘ短調 Op. 95 「セリオソ」(弦楽合奏版)
※22:30 終演予定

Chamber Music

諏訪内晶子室内楽プロジェクト Akiko plays Classic with Friends

【東京開催】3月11日(水)19:00 開演 紀尾井ホール

《チケット料金》S席：8,000円/A席：5,500円

Classic&Modern 2 公演セット券：S席 12,000円/A席 8,500円

[プログラム]

バッハ：「シャコンヌ」～無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番 ニ短調 BWV1004 より

ブラームス：ピアノ三重奏曲第3番 Op. 101

ドヴォルザーク：ピアノ五重奏曲第2番 Op. 81

諏訪内晶子室内楽プロジェクト Akiko plays Modern with Friends

【東京開催】3月13日(金)19:00 開演 紀尾井ホール

《チケット料金》S席：8,000円/A席：5,500円

Classic&Modern 2 公演セット券：S席 12,000円/A席 8,500円

[プログラム] スティーヴ・ライヒ：ヴァイオリン・フェイズ(1967)

川上 統：組曲「甲殻」より(2005)

マーク=アンドレ・ダルバヴィ：ピアノ三重(2008)

レオ・オーンスタイン：ピアノ五重奏曲第2番(1927)

[出演者] 諏訪内晶子(ヴァイオリン)、スヴェトリン・ルセフ(ヴァイオリン)、佐々木亮(ヴィオラ)、
アンリ・ドゥマルケット(チェロ)、ホーヴァル・ギムセ(ピアノ)

Museum Concerts

ミュージアム・コンサート I

【愛知開催】3月7日(土)13:00 開演 徳川美術館 講堂

[出演者] スヴェトリン・ルセフ(ヴァイオリン)、アンリ・ドゥマルケット(チェロ) 他

[プログラム] ペーター・フリストスコフ：「24のブルガリア奇想曲」より

カイヤ・サーリアホ：7羽の蝶々

モーリス・ラヴェル：ヴァイオリンとチェロのためのソナタ Op. 73

ミュージアム・コンサート II

【愛知開催】3月7日(土)19:00 開演 トヨタ産業技術記念館 エントランス・ロビー

[出演者] 諏訪内晶子(ヴァイオリン)、スヴェトリン・ルセフ(ヴァイオリン)、鈴木康浩(ヴィオラ)、
有田朋央(ヴィオラ)、アンリ・ドゥマルケット(チェロ)、上野通明(チェロ)

[プログラム] ウジェーヌ・イザイ：2本のヴァイオリンのためのソナタ

チャイコフスキー：弦楽六重奏曲 ニ短調 Op. 70 「フィレンツェの思い出」

関連企画

刈谷豊田総合病院 慰問コンサート

【愛知開催】2月1日(土) 刈谷豊田総合病院
[出演者] 諏訪内晶子(ヴァイオリン、小森谷裕子(ピアノ)
※病院関係者のみを対象とした公演となります。

東日本大震災 復興応援コンサート in 釜石 ～諏訪内晶子&フレンズ～

【岩手開催】3月12日(木)18:30 釜石市民ホール TETTO ※入場無料 要整理券
[出演者] 諏訪内晶子(ヴァイオリン、スヴェトリン・ルセフ(ヴァイオリン、佐々木亮(ヴィオラ、
アンリ・ドゥマルケット(チェロ、ホーヴァル・ギムセ(ピアノ)

マスタークラス[ヴァイオリン部門]開催

●公開マスタークラス 受講生応募要項

[講師] 諏訪内晶子 Akiko Suwanai スヴェトリン・ルセフ Svetlin Roussev
[日程] 2020年3月14日(土)・15日(日)
[会場] 東京音楽大学 池袋キャンパス
[応募人数] 10名×2レッスン
[詳細ページ URL] <http://www.japanarts.co.jp/imfn/information/05/>

国際音楽祭 NIPPON 2020 に寄せて

この度、「国際音楽祭 NIPPON 2020」で皆様とまたお目にかかれます事を、とても嬉しく思っております。2020年は先の大戦が終わり、世界が共に新たな一步を踏み出した時より75年となる節目の年となります。一方、楽壇に目を向ければ、偉大な作曲家ベートーヴェンの生誕250年にあたる年でもあります。そして私自身にとっても、2020年は1990年のチャイコフスキー国際コンクールの優勝から30年の年となります。私はこれまで多くの方のご支援とご協力により、国内外において数多くの演奏の機会をいただきました。それは私自身にとって尊い学び、経験、感動の瞬間であり、同時に多くの方々とのすばらしい出会いと、皆様とともに「今を生きている」という喜び、世界中の人々との平和と幸福を実感できる瞬間でもありました。私が皆様にご案内いたします「国際音楽祭 NIPPON」は、私たちにとって大切な音楽芸術の感動をお届けする事と、未来に生きる人たちに向けての発信をテーマに掲げてきました。この音楽祭が世界にとって、また自身にとって節目となる2020年に開催されることを心に留めおき、芸術作品のもつエネルギーによって人と人との出会い、繋がり、感動が生まれ、それが今日、そして未来の人々への生きる力、平和へのメッセージとなってほしい、という願いを込めて開催させていただきたいと考えております。そして今回の音楽祭にも多くの仲間が、多彩で意欲的なプログラムの演奏のために集まって下さる事となりました。最後に、本音楽祭がスタートいたしました2012年以降変わらずご支援を戴いております企業の皆様、関係の皆様がこの場をお借りして改めて厚く御礼申し上げます。音楽祭の会場で皆様とお会いできます事を楽しみにしております。

諏訪内晶子

諏訪内晶子 Akiko Suwanai ヴァイオリン/国際音楽祭 NIPPON 芸術監督,

Violin/Artistic Director of International Music Festival NIPPON 2020



1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、デュトワ、サヴァリッシュらの指揮で、ボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと共演。BBCプロムス、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン、ルツェルンなどの国際音楽祭にも多数出演。2012年、2015年、エリザベート王妃国際コンクールヴァイオリン部門及び2019年チャイコフスキー国際コンクール審査員。2012年より「国際音楽祭 NIPPON」を企画制作し、同音楽祭の芸術監督を務めている。デッカより14枚のCDをリリース。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。文化庁芸術家在外派遣研修生としてジュリアード音楽院本科及びコロンビア大学に学んだ後、同音楽院修士課程修了。国立ベルリン芸術大学でも学んだ。使用楽器は、日本音楽財団より貸与された1714年製作のストラディヴァリウス「ドルフィン」。

ニコラ・アンゲリッシュ Nicolas Angelich (ピアノ, Piano)



1970年アメリカ生まれ。13歳でパリ国立音楽院に入学し、チッコリーニやベロフらに師事。フライシャーやピリスらにも学び、ジーナ・バックカウアー国際コンクールで優勝。2003年にはアズマ指揮ニューヨーク・フィルとベートーヴェン「皇帝」を弾いて同団にデビューした。デュトワ、ユロフスキ、ネゼ=セガン、ソヒエフ、ハーディング、ゲルギエフらの指揮のもと、ボストン響、フィラデルフィア管、モントリオール響、パリ管、hr響、ロンドン響、マリンスキー劇場管などと共演。室内楽にも精力的で、アルゲリッチ、シャハム、ルノー&ゴータイエ・カプソンらと著名音楽祭などに出演している。レコーディングも多く、J.S. バッハ「ゴルトベルク変奏曲」、リスト「巡礼の年」全曲(ショック賞受賞)、P. ヤルヴィ指揮 hr響との共演によるブラームスのピアノ協奏曲第2番などのほか、最近では、プレイエル・ピアノを弾いたベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番、第5番「皇帝」をリリースした。

スヴェトリン・ルセフ Svetlin Roussev (ヴァイオリン, Violin)



ブルガリア生まれ。スイス・ロマンダ管弦楽団のコンサートマスターのほか、ソフィア・フィルハーモニー管弦楽団の芸術監督兼アーティスト・イン・レジデンスを務める。ジュネーブ高等音楽院教授。揺るぎないテクニックと豊かな表現力が絶賛される実力派ヴァイオリニスト。チョン・ミョンフン、ユーディ・メニューインなどの指揮の下ソリストとして活動するほか、室内楽の分野でもジャン=マルク・ルイサダ、エリック・ル・サーージュなどと共演し、世界各地で高い評価を得ている。

アンリ・ドゥマルケット Henri Demarquette (チェロ, Cello)



1970年生まれ、パリ出身。13歳でパリ国立高等音楽院に入学し、ジャンドロン、フルニエ、トルトゥリエに師事。アメリカではシュタルケルに学ぶ。17歳の時にシヤトレ座でリサイタル・デビュー。ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールなど数々の入賞歴を持ち、現代音楽にも造詣が深い。ニュアンス豊かな表現力が魅力。エンゲラーとの仏音楽アルバムなどCD録音も多数。使用楽器はLVMH財団より貸与された1725年制作のストラディヴァリウス“le V aslin”、使用弓は1820年製の“Persois”。

ホーヴァル・ギムセ Håvard Gimse (ピアノ, Piano)



現在ノルウェーを代表するピアニストの一人。ノルウェー国立音楽院を首席で卒業。ザルツブルク・モーツァルテウエーに帰国、引き続きイルジ・フリンカ教授のもと研鑽を積む。1987年ドイツ青少年音楽コンクールで優勝、95年スタインウェイ賞、96年グリーグ賞、2004年シベリウス賞など、数々の賞を受賞。

佐々木亮 Ryo Sasaki (ヴィオラ, Viola)



東京藝術大学およびジュリアード音楽院卒業。1991年日本現代音楽協会室内楽コンクール第1位、「朝日現代音楽賞」受賞。1992年東京国際音楽コンクール室内楽部門第2位。アスペン音楽祭、マールボロ音楽祭に参加し、卒業後は、ソロ、室内楽、オーケストラ奏者として全米各地で演奏活動を行う。2004年5月1日N響入団、2008年1月より首席奏者。師に、掛谷洋三、澤和樹、田中千香士、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫、室内楽を兎東俊之、フェリックス・ガリミール、ジェーコブ・ラタイナー各氏。桐朋学園大学、洗足学園音楽大学にて後進の指導にもあたっている。

ジャンドレア・ノセダ Gianandrea Nosedà (指揮, Conductor)



ジャンドレア・ノセダは、同世代の指揮者の中でも先頭に立つひとりとして広く認められている。2016年1月にワシントン・ナショナル交響楽団の第7代音楽監督に指名された。その他、ロンドン交響楽団とイスラエル・フィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者、カダケス管弦楽団の首席指揮者、イタリアのストレーザ音楽祭の芸術監督も務めている。また、2021-22 シーズンよりチューリッヒ歌劇場の音楽総監督に就任することが決まっている。ノセダは世界の主要なオペラ・ハウス及びオーケストラで頻繁にゲスト出演しており、その中にはメトロポリタン・オペラ、クリーヴランド管弦楽団、スカラ座、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、NHK 交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、ロイヤル・オペラ・ハウス、ウィーン交響楽団、チューリッヒ・オペラが含まれる。2015年にはベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と初共演し、また同年のザルツブルク音楽祭にもデビュー。ミラノ生まれ。イタリアの芸術界に対する貢献により、イタリア共和国功労勲章《カヴァリエーレ・ウッフイチャーレ》を授与されている。2016年国際オペラ賞の「今年の指揮者」受賞。同年ストックホルムにおいてノーベル賞コンサートを指揮する名誉を受けた。

ワシントン・ナショナル交響楽団 National Symphony Orchestra



1931年の設立以来、“アメリカの大統領府のオーケストラ”として、常に芸術的卓越性と確たる存在感を発信し続けるオーケストラ。現在96名の団員を有し、キャピトル・コンサーツがテレビ放映する公式祝賀行事や、国内はもとより国際的にも重要なイベントに頻繁に参加し、米国で最もよく人々の耳に届くオーケストラのひとつとなっている。2016年に音楽監督に指名されたジャンドレア・ノセダは、七代目の音楽監督として、エッシェンバッハ、スラットキン、ロストロポーヴィチ、ドラティという錚々たる指導者たちのタクトを受け継ぐ事となった。毎年、ケネディー・センターや夏のウルフ・トラップ、また米国の首都ワシントンの芝生の上で、世界的なゲストを迎えてのコンサートの他、年間150を超える公演を行っている。また、オーケストラとしてのレパートリーの拡大や現代の作曲家たちのサポートにも熱心に取り組んでいる。これまでに、60を超える作曲家に新作を委嘱し初演してきた。その時代の音楽を演奏することは、常にワシントン・ナショナル交響楽団の使命としての最優先事項とされており、この取り組みは早くも1934年から、世界初演や米国初演の作品を聴衆に届け続けている。

「国際音楽祭 NIPPON 2020」特設サイト：<https://www.japanarts.co.jp/imfn/>

写真ダウンロード：http://bit.ly/imfn2020_photo_

お問合せ：㈱ジャパン・アーツ 広報宣伝部 TEL (03) 3499-8100

pr@japanarts.co.jp